



吉備中央町

議会だより

第58号

令和2年1月20日発行
発行／岡山県吉備中央町議会
〒716-1192
岡山県加賀郡吉備中央町
豊野1-2
TEL.0866-54-2081
FAX.0866-54-1366
編集／議会広報編集委員会

祈る 無病息災（大和地区・とんど焼き）



TOPICS

12月定例会.....	3
7議員が町政を問う.....	4
追跡.....	12

年頭あいさつ 2020



議長 黒田 員米



令和2年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまには希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は「平成」から「令和」へと新たな時代の時が刻み始められ、そして、今年はいよいよオリンピック・パラリンピックの年です。夏には文字どおり熱い戦いが日本中で繰り広げられ、ひた向きに試合に臨む選手に再び感動をもらい、応援に力が入るでしょう。そして本年「庚子^{かのえね}」は変

化が生まれ、新たな生命が兆し始め、新しいことにチャレンジするのに適した年だそうです。

つまり吉備中央町で言えば2020年は、これまでを振り返りつつ、今後の「新たな時代」を計画する年。未来を良くするための計画を立てる年です。

「新たな時代」を計画する。これは、今年や来年のことだけではなく、長い目で見て「未来」を計画する年だと思っています。

しかし「新たな時代」を計画するためには、しっかりと過去を振り返り、残すべきもの、また、改めるべきものを取捨選択する勇氣も必要です。きつと、その過程には迷いや不安が出てくるでしょう。

だからこそ、町民全員でしっかりと考え、より良い

「新たな時代」を計画することは、今を生きる私たちの責務だと思います。

議会としても町民皆さまと共に素晴らしい「新たな時代」創りに一層努力してまいりますのでよろしくお

副議長 森下 誠一



新年明けましておめでとうございます。

新たな令和の時代に入り、皆さま方にはご家族お揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より議会活動に對しまして、格別のご協力とご支援を賜り、心より感謝申

願いたします。

結びに、皆さまにとって本年が幸多き年になりますよう心から祈念いたしました。年頭のご挨拶といたします。

申し上げます。

昨年は台風19号が猛威を振るい全国各地で大きな災害が発生しました。被害に遭われました皆さま方に心よりお見舞いを申し上げます。今年は東京オリンピック・パラリンピックもあり穏やかなよき年であると思っております。

しかしその反面、都心南部直下地震が起こると政治機能も失われ、未曾有の被害で経済的損失は約95兆円ともいわれ、首都移転の地震対策が課題です。昨年は吉備高原都市に首都移転を

考えるフォーラムを高嶋哲夫氏、板谷徹丸氏を招いて、開催し、大きな反響を呼びました。

吉備高原都市が全国で最も安定した活断層のない大陸塊という強固な地盤であることを、全国にアピールでき現実味が帯びてきたように思われます。そして、吉備高原都市Eゾーンの埋め立ても順調に進み広大な整地に大きな夢が持て、今年は大いに期待できます。また、ニューサイエンス館跡地を利用した岡山国際オーブンイノベーション構想も大いに期待するところであります。吉備高原都市工業用地も4号地一区画を残すのみとなりました。これらの事業が町の活性化に必ず役立つと思ひ、ぜひとも成功して町の定住促進過疎化問題に寄与していただきたいと願うところです。本年も皆さま方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。議会といたしましては町民皆さまの負託にこたえて頑張りますので宜しくお願いいたします。

小学校教育用タブレット

1966万8千円

12月定例会

12月定例会は12月4日開会。30年度決算審査報告2件、請願3件、条例改正など9件、元年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算5件、議員発議3件が上程された。審議の結果議案はいずれも原案どおり可決され18日閉会した。

条例一部改正

- 町特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償
- 町特別職の常勤職員の諸給与
- 議会議員の報酬及び費用弁償など
- 町職員給与の一部改正。
- 地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備。
- 成年被後見人などの権利の制限に係る措置の適正化などを図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理。

条例制定(主なもの)

- 町会計年度任用職員の給与及び費用弁償
会計年度任用職員制度は、現在、自治体において、臨時的任用職員や嘱託職員などの非常勤職員が雇用されているが、令和2年4月1日以降は会計年度任用職員という身分になる。
- 問** 現在の臨時職員は、少人数部署、資格保有者、地域への配慮が必要な場合や教育、子育て関連など現場の事情を理解している人材が、必要な部署に多く配置されているが、報酬や雇用はどのように配慮していくのか。

答 それぞれの現場の要望などを聴き取り、丁寧な説明と任用をしていく。単年雇用ではあるが、複数年雇用を妨げるものではなく、報酬についても耳を傾けるようこころがけて運用していきたい。

問 採用の募集は、地域や現場の要望に応じた募集がされるのか。

答 公募は、国から示されているが、地域に根差した職種もあるので、募集時、面接などで考慮して採用していく。

問 今回の制度運用により報酬の減額や時間当たりの最低賃金を下回ることにならないのか。

答 報酬は配慮をしていく。

最低賃金が下回ることはない。

○動議

今回の「会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に附帯決議が動議され、

①報酬額の決定は、業務の性質、量に基づき適

正に算定すること。

②号級の適用は、職務内容、責任、知識や技術、経験等を考慮して、適正に加算することの2点を強く要請し、これを決議した。

○下水道事業の設置。

財産の取得

小学校でのプログラミング教育が必修化により、ICT環境を整備するため教育用タブレット端末105台を1966万8千円で購入。

購入先は、(株)ライズオカヤマ 備前支店

平成30年度決算を認定

平成30年度一般会計及び各特別会計決算については、決算特別委員会において5日間にわたり慎重に審査した。各会計とも適正に執行されており、いくつか意見を付し認定すべきとの委員長からの報告を受け、全会一致で認定した。

ここが聞きたい

7 議員が一般質問

質問の順番はくじ引きによる

(12月12日)

ページ	議員名	質問項目
5	西山 宗弘	町営バス岡山医療センター線 災害対応 教育行政（ほか2件）
6	石井 壽富	防災・減災の町づくり 安心・安全な町づくり 町の活性化事業（ほか1件）
7	森下 誠一	高齢者へのGPS貸与 急発進防止装置の購入補助 旧竹荘中学校跡地の進捗状況
8	山崎 誠	地域医療の維持 臨時職員等の会計年度任用職員への移行

一般質問とは、町の政治行政全般にわたり、町長の方針や見解、説明を求めるものです。

(12月13日)

ページ	議員名	質問項目
9	河原 正一	緊急通報システム 自治会活動 自治体戦略2040構想
10	日名 義人	学校統廃合問題 食料、農業、農村計画の見直し シルバー活動
11	難波 武志	公共交通の現状と今後 地域おこし協力隊の成果と課題 通信機器の受信不良地域の対応



西山 宗弘

問

岡山医療センター便の状況は

答

持続可能な公共交通を目指す

問

町営バス
岡山医療セ

ンター便の運行状況と今後の対応、また、利用者からの苦情などを尋ねる。

答

山本町長
利用者から

らはこのバスがあるから本当に助かるという声を聞いている。町として、持続可能な公共交通となるよう、また地域住民の方が利用しやすくなるよう努めていきたい。

問

災害が発生した場合、最終的には自治

災害時の対応

体のトップが判断を下すと思うが、中には想定外の行動をとらなければならない時の、町長の決断と意思を聞きたい。

答

町長

災害発生時または



多くの利用者を期待する（岡山医療センター便）

教育行政

その恐れのあるときは、緊急性に応じて4段階の防災態勢をとり、各態勢に応じた対応を実施している。大規模な災害発生時やその恐れのある場合は私が全指揮をとり、関係機関と密に連絡を取りながら迅速かつ適切な対応をしていく。

問

学校、教育委員会
管轄の施設などいろいろな施設の修繕及び諸経費のあり方を尋ねる。

答

津島教育長
予算編成時にヒア

リングを行い、小修繕は各施設で対応できるよう予算組みをしている。また、予算の許す範囲で大規模な修繕も対応しているが年々修繕箇所が増え、全てに対応できない状況である。今後、学校、社会教育施設のあり方も検討しながら安心・安全な施設環境の確保に努めていく。

消防団の組織

問

消防団員の減少問題や待遇問題を探ねる。

答

岡田副町長
過疎化、少子高齢

化により年々減少傾向にある。団員による声かけや消防団員募集のチラシ配布などをを行い、新人団員の確保、増強に務めている。

平成25年12月、消防団を

中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が施行され、待遇改善が呼びかけられている。町としても訓練服の更新や雨合羽の導入など、消防団の装備の改善を行いその活動の充実強化及び士気の向上を図っている。

受動喫煙対策

問

公的敷地内での全面禁煙が実施されて約半年が経過、来庁者や職員などの喫煙専用室の設置はできないか尋ねる。

答

町長

健康増進法の改正に伴い受動喫煙防止対策検討委員会において協議検討の結果、子どもに優しい町を目指し、公的施設の敷地内全面禁煙として、喫煙場所を設けないこととしている。喫煙者には大変不便をかけているが、望まない受動喫煙を防止するため、また町民の方々の健康寿命を促すためにも、ご理解ご協力を賜りたいと考えている。

ハザードマップの見直しは

来年度早い時期に対応



石井 寿富

【答】

【問】

避難場所などへの防災資
機材の配備、備蓄品の強化
に努めており、今後は地域
の自主防災組織などの要望
も十分踏まえて充実した体
制がとれるよう取り組む。

【問】 防犯カメラで安心・安全を

【答】 防犯カメラは犯

【問】 昨年の災害を受け
防災マップ、再避難
を余儀なくされた避難場所
の改善点を尋ねる。

また、自分の命を守るた
め学校や老人施設にヘル
メット、公会堂などに土の
う袋・シートを常備しては。

【答】

山本町長

地域・高齢者など
の特性に応じた避難行動の
できる防災マップへの更新
を来年度の早い時期に完成
させたい。

【答】

町長

現在、
役場・学校・道



真剣なまなざし

の駅などの公共施設をはじ
め民間での設置も増えてい
る。
プライバシー保護の観点
も考慮し、提案の主要道・
交差点及びその他公共施設
への設置と巡回パトロール
もあわせて安心・安全な町
づくり而努力したい。防犯

カメラ設置者への情報提供
や協力体制も行う。

【問】 有害鳥獣被害防止に向
けて

【答】

深刻化する有害鳥
獣対策に対応する班
や専門職員を配置してはど
うか。ドローンや位置情報
の把握などの手段・専門の
知識により早期の対応、体
制づくりを。

【答】

町長

現状では農作物被
害は年々増加傾向にあり、
農林課職員と鳥獣被害対策
実施隊で連携しているが、
パトロールや職員の異動に
より対応が難しく、専門職
員の必要性を痛感している。
地域おこし協力隊の制度
を活用し、専門的知識のあ
る隊員を専門職員として採
用することも検討したい。

【問】 スポーツを通じて町の
活性化を

【答】

スポーツが盛んな
岡山の選手・サポー
ターを招致し、施設や温泉
などを活用した地域を変え

る活性化に取り組んでは。

【答】

津島教育長

スポーツ施設・宿
泊施設・特産品販売施設な
どが関わるイベントは地域
活性化や子ども達の成長に
もつなげる。

【答】

岡田副町長

自然と歴史という
地域資源とスポーツを活か
した元気な町づくりは、若
者から高齢者までリフレッ
シュできる。かもがわス
ポーツ公園エリアと温泉郷
の連携で町づくりの再構築
を進めたい。

【問】

スポーツを通じた
地域発展のため、ワ
ンチームで独自の情報発信
力のもてる体制が必要では。

【答】

教育長

町内にある他の各
施設も含めて、地域・子ど
も・高齢者が元気の出る事
業を考え、パンフレットな
どを活用し広く町内外へP
Rし、多くの方に町へ来て
もらう取り組みをしていき
たい。



森下 誠一

問

高齢者へのGPS貸与

答

前向きに検討し安全を確保

問

認知症で帰宅が困難になる恐れのある高齢者を対象に、全地球測位システム(GPS)の小型端末の無料貸し出しで安全を確保するべきと思われる。

町内でもいまだ行方知れずの方がおられ、現在の高齢化社会では全国で帰宅困難者が年々増え、各自治体でも大変苦慮している。

GPSの小型端末は縦横4cm厚さ1cm程度で、家族のスマートフォンと連動させGPSの端末を持つお年寄りの位置を確認できる。

町もGPSの端末を無料で貸し出し、高齢者の安全を確保すべきではないか。

答

山本町長

近年、全国的に認知症対象者の徘徊は大きな問題となっており、GPS受信機は前向きに検討していきたい。ただ、その受信機の付いたペンダントや、靴を履いてもらえないと全く効果がない。家族構成にもよるが、その認知症の方をしつかりとサポートできる体制があれば有効だと思

う。一人暮らしの方は確実に身に付けてもらうことが難しいので、より良いものを前向きに検討したい。

急発進防止装置

問

高齢者のペダル踏み間違いによる重大事故が後を絶たない。近年は運転免許証の返納が高齢者の責務のように叫ばれているが、過疎地帯の町では、車無しでは日々の生活が困難でない。

事故を未然に防ぐには安全運転はもちろんだが、高齢運転者と行政は共に対策を講じるべきである。多くの高齢者に急発進防止装置を整備し、重大事故を防止し安全の確保に努めるべき。政府は安全装備のついた新車に補助金制度を設けるようであるが、多くの高齢者は切り詰めた年金生活者である。

ペダル踏み間違い防止装置の整備助成は多くの自治体で行っている。町でもペダル踏み間違い防止装置の補助金制度を設け、町民の安全を確保すべきではないか。

答

小谷住民課長

急発進防止装置の補助は県内では数市町で実施されている。高齢化率の高い吉備中央町でも、重大事故が懸念されるところで、今後、国の補助制度や後付け安全装置の認定状況を見ながら、町の補助制度を検討したい。

旧竹荘中学校跡地



期待されるバナナハウス (旧竹荘中学校)

問

旧竹荘中学校の跡地利用で企業による事業が進展している。校庭のハウスや体育館の改修などは、目に見え進捗状況が分かるが、当初の計画どおりに進んでいないのではと懸念する。事業計画案で期待し賛同した経緯がある。

答

片岡企画課長

グラウンドはバナナ栽培用のハウス11棟を建設し、栽培用の土を入れ灌漑用の水道工事も完了。現在は暖房用の電気工事を

行っている。体育館は、外観の改修を行い幸福産業(株)の事務所を開設し、旧式バイクや旧車を展示しており、さらに順次搬入している。現在でも一般の方の見学も可能と聞いている。校舎棟は実際に改修設計を実施していく上で、費用対効果あるいは投資効果などから、現在研究、検討をしている状況で、来春の開校を迎えることはできない状況と聞いている。

体育館は、外観の改修を行い幸福産業(株)の事務所を開設し、旧式バイクや旧車を展示しており、さらに順次搬入している。現在でも一般の方の見学も可能と聞いている。校舎棟は実際に改修設計を実施していく上で、費用対効果あるいは投資効果などから、現在研究、検討をしている状況で、来春の開校を迎えることはできない状況と聞いている。

吉備リハの存続を町一丸で

存続できるよう強く努力する



山崎 誠

問

答

で意見交換会を開いたと報道されている。どのような説明がなされたのか。

答

石井保健課長

10月30日、岡山市内で開かれた。診療実績などを分析し再検証を求めたもので、統廃合を決めるものではなく議論してほしい、との説明があった。

問

再検証を求めただけという厚労省の説明は額面どおり受け止められない。

町にとっても、吉備高原の再活性化にとっても、絶対に存続させなければならぬ。一丸となって厚労省など関係機関に強力に訴えていくべきである。

答

山本町長

地方は全力で町づ



なくしてはならない (吉備リハ)

くりをしている。そうした中で、根拠も地方の実態も把握せず、机の上で考えたような厚労省の発表には憤りを感じる。

町づくりに欠かせない一番重要な要素は医療機関と想っている。存続に向けて、県や全国町村会などにも働

きかけている。吉備リハは近年内科を中心に医師の充実も図られており、機器も整っている。医療を受けられる多くの方が利用されるようPRもしていきたい。

会計年度任用職員に移行し待遇は改善されるのか

問

法律の改正により来年度から役場の臨時職、嘱託職、一部非常勤特別職は「会計年度任用職員」に統一される。これは昨今の働き方改革の一環であり、待遇改善がなされるものと思うが、どのように移行するのか。

①対象となる職員・職種及び人数。

②フルタイムとパートタイムは職種で決まるのか、業務量で決まるのか。

③継続して雇用された場合正規職員へ登用はあるのか。

④部署や職種によっては臨時職員が業務に精通しているケースもある。任用の公平性は図られるのか。

⑤給与、報酬、ボーナスそ

の他福利厚生は向上するか。

⑥人件費の増減をどのように見込んでいるか。

答

町長

①対象人数は臨時職員約150人、嘱託4人、非常勤の特別職23人を見込んでいる。

答

大木総務課長

②フルタイムは正規職員と同じ勤務時間。それ未満はパートタイム。現在、フル10人、パート約170人を想定している。

③継続雇用されても正規職員にはならない。

④経験年数に応じた昇給制度は実施する。前の経験による初年度の加算はない。

⑤週15・5時間以上の勤務時間があればボーナスの対象となるが、ボーナスと基本の給料を含めて現在と同額を保障する。

⑥人件費は現給保障とボーナスの段階的引き上げによって、2年度330万円増、3年度1320万円増、4年度2620万円増となる見込みである。

94



河原 正一

問

防火・防災・福祉の具体的活動は

答

課題を協力し解決する組織づくり

問 地域自治組織再編
統合の説明会での
「防火・防災活動及び自主
防災活動」と「地域福祉活
動」の具体的手法を尋ねる。

答 大木総務課長
防火・防災活動は、
戸締りなど地域全体での声
掛けや避難訓練、救命救急
講習などの取り組みである。

福祉活動は、民生委員・
老人クラブ・地区サロン・
福祉委員など地域のさまざま
な団体と話し合える場を
設け、日常生活で感じる不
安や課題に対して協力し解
決していく組織づくりを行
っていく。

問 防火・防災活動及
び自主防災活動の具
体的手法が自治会（住民）
に理解されているか尋ねる。

答 総務課長
地域によって課題
が異なるため、各地域での
課題の洗い出しが必要であ
る。

その課題を自治会で解決
するためにできることが具
体的手法になる。

問 地域福祉活動の具
体的手法が自治会
（住民）に理解されている
か尋ねる。

答 奥野福祉課長
地区サロンに加え、
高齢者の居場所づくりや介
護予防としての集いの場の
活動が年々増加している。

集いの場へ二人で行けない
方を送迎する通所付き添い
サポート事業のサポーター
登録者数も増加している。
今後、高齢化や過疎化と
自然災害の可能性が高まる
中、関係機関と連携を図り
地域福祉活動を進めていく。

問 「共助」が重要と
考え、町民に幅広く
理解して頂くには、日ごろ
から地域交流を行い、必要
な情報を提供することが重
要と考えるが町長の考えを
尋ねる。

答 山本町長
地域の問題を公的
支援だけで解決できる時代
ではない。町民の方々には、
今でもご尽力頂いている
が、地域の取り組みが偏っ
ているのが現状である。



元気に育ってネ

必要な情報を各自治会に
提供し、さまざまな講座、
研修会など町民の方々が進
んで共助を高めよう機会を
作る。

NET119とは

問 聴覚・音声・言語
機能などに障がい
があり、音声による通報が困
難な方が利用するNET1
19の詳細内容を探ねる。

答 福祉課長
事前登録が必要だ
が、緊急の事態が発生した
場合、スマートフォンなど
を用いていつでも全国どこ
からでも、通報場所の消防
本部に、音声によらない緊

急通報できるシステムであ
る。
自治体戦略2040構
想

問 高齢者人口が最大
となる2040年頃
の自治体が抱える行政課題
を整理した上で、今後の自
治体行政のあり方を展望
し、早急に取り組むべき対
応策を検討する目的で報告
があった。内容による意見
と将来の行政サービスの考
えを尋ねる。

答 町長
更なる合併や道州
制を念頭にしたものと思う。
明確でない道州制では、住
民サービスの低下になる危
険性があり、慎重に見守る
必要がある。東京圏一極集
中の是正策が報告されてい
ないので不満な内容である。
将来は、AIなどの新技
術も含めて良いものは受け
止め、人的なものは、岡山
市や近隣の自治体と連携し
て、最少のコストで最大の
効果を発揮する住民サービ
スに取り組む。

問

小学校適正配置は住民合意で

答

住民無視の決定はない・慎重論議で



日名 義人

問

小学校などの適正配置に関する検討委員会が、3月答申をめどに設置され、協議が進行している。

委員会の役割とともに取り組み全体の構想、委員会の論議の到達点を聞く。何よりもこの課題は地域の存亡にも関わる重要課題だけに決定までの全過程を「住民合意」で買めくべきと思うがどうか。

答

津島教育長

教育を取り巻く環境などの変化に対応するために、町長の諮問を受けて、幼保小などの適正な配置や規模を決定でなく、検討することを目的に設置された。言われるように住民合意を無視して決定とはならない。答申内容の地域説明会も必要と考えている。

現在、幼保小の現状、将来の推計、子育てアンケート結果の検討を行っている。適正規模、配置などを含めて最終的な決定に至るまでの構想や、どこまで踏み込んだ答申ができるかも協議中である。また、学校のあり方をどうするかなど非常に難しい。整理までにはまだ時間が必要と考えて



いつまでも残したい農村

問

国・農業基本計画見直しへ全国町村会特別決議

今年は、5年ごとの食糧、農業、農村計画の見直しの年。これまでの規模拡大・効率一辺倒の農政に対し、中山間地域を意識した小農・家族農業、そして、自治体農政のあり

方に目を向けた議論を、マスコミも取り上げ始めている。

その中で全国町村会のシンポジウム、食料、農村、食料計画への提言決議の報道は注目された。状況を聞きたい。

答

山本町長

11月27日、国の計画策定に合わせ、農業、農村の地域のあり方の提言を特別決議した。中山間地域を含む農村地域が国土保全の役割を持ち、再生エネルギーの蓄積、新たなライフスタイルやビジネスモデルの提案の場の可能性、農業の発展と農村振興のバランス、多様な主体が活躍できる地域社会の継承、都市農村共生社会の実現を、町村会として国に求めている。

また、農村の価値を持続的、安定的に高める地域独自の主体的取り組みができる農村価値創生交付金の創設をも求めるとともに、今までの国と地方自治体との関係性の見直しや、町村職員のレベルアップ対策を提言し

た。

シルバー活動の支援を

問

社協・シルバー活動の世話をされている方から、「草刈りの切実な依頼に会員不足で応えられない、何とかならないだろうか」との訴えがたびたびあるが。

答

奥野福祉課長

高齢化と労働環境の変化で登録者数の減少の一方、依頼は増加し対応し切れない現状にある。社協と連携を図り、民生委員、老人会などを通じて会員の募集を考えている。

問

従来対応では、打てできないのではないか。

答

町長

困っている現状はよく承知している。草刈り応援隊を試みたが期待どおりに行っていない。もっとPRしたい。また、65歳の年齢制限をなくすなどをシルバー人材センターへ提案もしてみたい。



難波 武志

問

公共交通の現状と今後は

答

利用しやすい状態を検討

問

高齢化率が40%を超え自力での移動手段がままならないお年寄りが増えてきている。足の確保は日常生活の中で最も重要で深刻な問題であると考えられるが、デマンドタクシーやふれあいタクシー利用助成などの利用状況を探る。

答

山本町長

デマンドタクシーは29年度が941人、30年度が871人で1日当たり3・5人、ふれあいタクシーは29年度が4136件、30年度が4027件で1日当たり11・9件である。

問

山医療セン

きびプラザから岡ターまでの町営バス実証運行利用状況。また、今後について考えを尋ねる。

答

町長

6月の開始以来11月末現在で述べ349人1日当たり3・2人となっている。



復活したい水車（和田）

答

河内協働推進課長

町営塾によって教

問

平成26年から実施している地域おこし協力隊事業は多額の費用を投じての事業で、始めてから5年が経過しているが、どのような成果が上がっているのか尋ねる。

地域おこし協力隊の成果と課題

問

協力隊の目的は、

都市部の人材を誘致し、新たな視点でまちの魅力の再発見であるとか、まちづくりへの提言などであるが、積極的に町民との関わりを持っているとは思えないし、3年間の期間を全うしないで途中で辞めてしまふ者もいる。

本人たちの考えもさることながら、町としての指導体制も含め5年が経過した今、根本的な見直しが必要ではないか町長の考えを尋ねる。

答

町長

問題はあるが総体的にはこの制度は活用すべきだと考えている。今後指導体制を見直して、それぞれ隊員の個性は尊重しながら

通信機器の受信不良地域の対応

問

通信機器（携帯電話、スマートフォン

など）の発展が急速に進む一方で、受信できない場所が多くある。

緊急時の連絡や仕事の対応など無くてはならない通信手段である。使えない場所の解消に向けての対応が必要と思うが、考えを尋ねる。

答

片岡企画課長

受信エリアの調査は、業者において利用者の声を聴き随時調査していると聞いている。受信不良の場合、町へ連絡いただければ、事業者へ連絡している。また、国の補助事業で携帯電話などエリア整備事業もある。

個々の家庭における通信不良状態緩和策としては、事業者による家庭用室内アンテナの貸し出しサービスがあると聞いている。

追跡

あの時の質問
どうなった？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。(平成28年6月定例会の質問)



すこやかに育ってネ

Q 質 問

認定こども園の整備計画はどうなっているのか。

A 答 弁

平成30年開園予定で建設する。現在、準備委員会を立ち上げ検討している。今後、保護者説明会を開催し、子供たちの健やかな育ちを支援し、地域から愛されるこども園にしていきたい。

その後(子育て推進課)

平成30年4月に幼保連携型認定こども園として「吉備高原こども園」を開園した。

認定こども園は、就学前の教育・保育を一体的に行う施設であり、定員は70名で、生後6か月から5歳児を受入れており、開園時50名、現在は62名の園児たちが元気に楽しい園生活を送っている。

Q 質 問

全国的な問題である買い物難民の取組みについて、現状と改善に向けた今後の対応を尋ねる。

A 答 弁

過疎化・高齢化のため、モデル地区を選定して組織づくりから始める。今後は、具体化策を地元組織とともに進めていきたい。

その後(企画課)

令和元年7月に、新山地区活性化推進協議会が主体となり「新山ほほえみ笑店」をオープンした。店舗の運営、無償送迎サービスや地域介護など予防活動を支援している。

小さな拠点づくりのモデル地区として取り組み、今後、他地域への拡大を考えている。



大助かり 新山ほほえみ笑店

元気に遊ぼう キッズパーク

開設3年9カ月 利用者10万人に迫る



平成29年4月、きびプラザ2階に開設された自由に遊べる「キッズパーク」は、連日親子連れで賑わい、子どもたちのしゃぐ声で溢れています。

466㎡のスペースには、すべり台やジャングルジム、クライムピラミッドなどの大型遊具のほか、ボールプール、ままごとコーナー、ジャイアントそろばん、ころころボールなど数多くの遊具が揃っていて、素足の子どもたちは歓声をあげて遊んだり、積み木やレゴブロックに一心不乱に挑戦したり、思い思いに楽しんでいます。

また、ドアひとつ開けると人工芝のテラスがあり、爽やかな外の風を受けなが



ら遊べる空間もあります。遊び空間のほか、間仕切りされた部屋があり、子育ての情報交換や飲食もできます。もちろん、授乳室やベビーベッド、子供用トイレも完備され、安全・快適に楽しめるよう整えられて

る、色とりどりの手作りバールンアートは人気の的。帰り際多くの子どもたちがスタッフに声をかけ、嬉しそうに持ち帰っていました。

元年11月現在の累計利用者は9万4200人。1日平均30組およそ100人で、

います。

地域子育て支援拠点事業として週3回、子育てひろば「ゆう」を実施し、必要に応じて子育ての悩み、発達相談、栄養相談を行っています。

また休日にスタッフが作

平日より土日が多く、町外の利用者が多いようです。

屋外遊具も増設

隣接の芝生広場に、すべり台などさまざまな遊びのアイテムを配置したコンビネーション遊具が整備され



ます。

整備予定は今年3月。屋内、屋外施設の一体運用で、キッズパークはさらに充実します。

なお、キッズパークは毎週火曜日と年末年始が休み。利用は無料です。

詳しくは電話0866-5617010キッズパークか0866-5411328子育て推進課にお問い合わせください。



放課後 児童クラブ の紹介

町内の7地区で、放課後児童クラブを開き子どもたちの居場所づくりを行っています。

円城放課後児童クラブ

円城小学校隣の基幹集落センターに間借りし、玄関わきのクラブの部屋から元気な声が聞こえ、18人の子どもたちと4人の指導員が、元気はつらつ過ごしているのが「円城放課後児童クラブ」です。

手洗いやうがい、検温の

も手伝う「白菜鍋」パーティーなどのイベントも行っています。先日は、ペットボトルのクリスマスツリーづくりを行い、今年度は節分の卒所式で閉めとなります。学校や保護者たち、地域の皆さんの支えがあつてこそ、その円城放課後児童クラブです。

後のおやつ、宿題をすませたら楽しく遊ぶのが日課です。誕生日会や夏祭り、ハロウィンなど、さすが円城！地域の皆さんの指導で育てた円城白菜で保護者



円城放課後児童クラブ

吉備高原児童クラブ

「ただいまー！」放課後になると、吉備高原小学校ランチルームに併設された児童クラブには、次々と子どもたちの元気な声が響きます。

開設から18年目を迎えた令和元年度は、50人を超える子どもたちが登録しています。

当クラブを支えてくださる指導員や多くの先生方が、子どもたちの個性や学力、興味関心に向き合っています。

当クラブは、代々引き継がれている子どもたちの「縦の繋がり」や「ありがと」「ごめん」「あいさつ」など人との関わりを大切に、家庭的な雰囲気の中で生活しています。また、卒業した



吉備高原児童クラブ

先輩たちが度々訪れては新生活を語ったり、小学校教諭となつて夢を叶えた話など、子どもたちに後ろ姿を見せています。

昨年度から、年間12回程度の土曜日児童を開設しており、長期休暇には、お楽しみ会やクリスマス会、お別れ会を企画しています。

吉備高原小学校や地域の皆さんと連携しながら、今後も先生方と保護者の信頼のもと、子どもたちの健全な育成を図りたいと思います。

編集後記

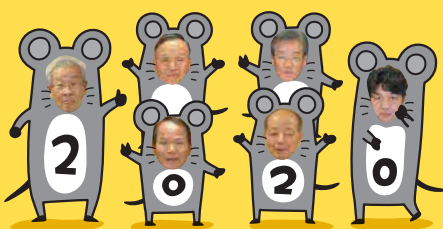
明けましておめでとうございませう。近年、世界各地で異常気象が報じられ、日本でも思いもよらない災害が増え、新たな対策が求められています。

議会は皆さまの負託を受け、行政のチェック、提言、政策立案など重要な役割を担っています。「議会だより」はその活動を伝える大切なツール。読みやすく、わかりやすい紙面づくりを目指して委員一同研鑽を重ねたいと思います。

本年がすべての人にとって良い年になりますようお祈り申し上げます。

(山崎 誠)

謹賀新年



本年も宜しくお願い申し上げます